

平成26年度 清瀬市立清瀬中学校 第2回学校関係者評価表

学校教育目標 人間尊重を基本理念に国際的視野にたち平和を愛する社会人の形成をめざして、
 ・正しい判断力と粘りつよい実践力をもった生徒を育てる ・健やかな身体と豊かな情操をもった生徒を育てる ・高い知性とたくましい創造力をもった生徒を育てる。

目指す学校像(ビジョン)
【目指す学校像】 伝統を受け継ぎ、安全で地域・保護者から信頼を寄せられる学校
【目指す児童・生徒像】 自らよく学び、よく考え、互いに支え合い認め合える豊かな心と強い意志をもち、国際的視野に立てる生徒
【目指す教師像】 生徒のよさや可能性を引き出し、教職員が互いに磨き合い、協力し合える組織をつくり、公務員としての自覚有る行動のとれる教職員

前年度までの学校経営上の成果と課題 学力の向上と命の教育に特に重点を置いて学校運営を行った。本校は平成25年度より2年間の学力向上推進モデル校に指定され、その初年度として具体的な向上への取り組みを行った。その成果を、平成26年秋に数値で把握し、27年2月に発表する予定である。命の教育については、赤ちゃんのチカラプロジェクトや、メンタルヘルスリテラシー、本校独自の取り組み等で十分に行うことができた。また、生徒が自ら考えて行動できる、判断力の育成を図った生活指導を実践している。課題としては、不登校生徒を減らすことや、特別支援学級と通常学級との交流学習を質量ともに向上させること、ホームページの充実によって、学校理解をさらに進めることが挙げられる。

	具体的方策	第2回評価		課題と次年度以降の対策	第2回学校関係者評価
		努力目標	成果目標		
確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 毎授業で復習テストを実施する。 授業規律を確立するための授業運営ルールを1学期に規定し、全教員に徹底させる。 小中相互の授業参観を行う。 教務主任を中心に進め、改善計画を全教科で作成する。 授業公開日に取り組み状況を公開する。 	4	3	国社数理英の毎授業で復習テストを行うなど、向上の取り組みを計画どおりに行った。都の学力調査で都平均を4教科で上回る事ができ、平均を下回っている英語も昨年度よりも向上し、都平均に迫っている。八小との小中連携した学力向上の取り組みを、次年度は清小とも行う予定である。	授業参観して、落ち着いた授業だった。前回の反省を生かして、はじめに授業見学をできたことは良かった。
	<ul style="list-style-type: none"> 命の教育を全学年で行う。 ふれあいアンケートの毎学期実施。 休み時間には学年担当教員が学年フロアに待機し、生徒に寄り添う。 不登校生徒への家庭訪問を行う。 全生徒が部活動、資格取得試験、各種コンクール等において、3年間で1度は表彰を受けられる指導を行う。 委員会活動、学校行事等の特別活動は生徒主体で企画運営を行う。 	4	4	教員の言葉遣いや、生徒への対応において、一部課題があるとの保護者評価を受けている。OJTをさらに進めて、改善を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> 授業は規律正しく行われ、生徒は落ち着いた態度で臨んでいる。教員は一生懸命教えている。地域でも、清瀬中学校の評判は良い。 生徒が成長している。教室の掲示物もしっかりしている。
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 命の教育を全学年で行う。 ふれあいアンケートの毎学期実施。 休み時間には学年担当教員が学年フロアに待機し、生徒に寄り添う。 不登校生徒への家庭訪問を行う。 全生徒が部活動、資格取得試験、各種コンクール等において、3年間で1度は表彰を受けられる指導を行う。 委員会活動、学校行事等の特別活動は生徒主体で企画運営を行う。 	4	4	生徒間トラブルは、成長過程において避けて通ることができないが、人権上の問題や、心に深い傷を残すことがないよう、教員が常にアンテナを張り巡らしていく必要がある。また、トラブルの未然防止や、起きた時の最善の解決策構築へさらに研修を積んでいく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> PTA役員をやって、学校の目指すものがよくわかった。保護者アンケートでの「わからない」がなくなった。 いじめについては、親子で評価(見方、考え方)が違うのではないかと。アンケートでも、生徒と保護者とは設問が違うので、一概に比べることはできない。
	<ul style="list-style-type: none"> 全生徒が部活動、資格取得試験、各種コンクール等において、3年間で1度は表彰を受けられる指導を行う。 委員会活動、学校行事等の特別活動は生徒主体で企画運営を行う。 	3	4	14部活中、対外的な活動をしている11部活が、それぞれ複数回表彰を受けている。その都度朝礼等での表彰や学校だより等での紹介を行っているため、目標の達成はほぼできているといえる。しかしながら、努力目標の評価基準は把握に時間と労力がかりすぎるという難点があり、検討が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> 清瀬中学校の生徒が見知らぬ人に悪口を言ったことがあったので、生徒への指導を徹底すべきである e-ルールについては、PTAとしても取り組んでいきたい。
健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> 体育の授業開始前からランニングを行う。 説明を効率的に行うことにより運動の時間をより多く確保する。 給食の残菜量を減らすため、教員による配膳の工夫や生徒による完食推進キャンペーンを行う。 	4	4	体育への生徒の関心・意欲は高く、授業には積極的に取り組む生徒が多い。本校生徒の柔軟性や持久力が、全国平均に及ばないという課題があるため、次年度は補強運動に更に力を注ぎ、向上させていく。	外で遊ぶ子供たちを見かけることが、ほとんどなくなっている。学校の体育の授業の役割が、ますます重要になっていると感じる。
	<ul style="list-style-type: none"> 給食の残菜量を減らすため、教員による配膳の工夫や生徒による完食推進キャンペーンを行う。 	4	3	学校給食運営協議会やPTA試食会では、本校の食育への取り組みや、学校給食への高い評価が得られている。保護者による学校評価においても、要望や苦情等は一切無い。	給食の役割がますます高くなっている。1年で約1000回の食事のうち、給食はわずか180回である。家庭が子供たちにしっかりといい食事を与えていくことが大切である。
本校の特色①	<ul style="list-style-type: none"> 1年次にUNICEF理解教育を実施。 2年次に『留学生が先生』プロジェクトを利用した交流授業を実施する。 3年次に、清瀬市内に在住する外国籍の方々との交流授業を実施する。 個別指導計画を作成し、生徒個々に対する指導の充実を図る。 特別支援学級と通常学級との行事交流、部活動交流、給食交流を行う。 	4	4	今年度の教育課程上の計画は全て実施し、学校だよりや校長講話等においても推進してきた。次年度からは生徒が日本文化への理解を進め、深まった理解を外国籍の方々へ発信していくという道筋にたった計画を実施していきたい。	子供たちもいい経験ができて喜んでいる。今後も続けてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導計画を作成し、生徒個々に対する指導の充実を図る。 特別支援学級と通常学級との行事交流、部活動交流、給食交流を行う。 	4	2	通常学級と特別支援学級との交流は非常に進んでいるが、特別支援学級の生徒数が少ないため、全ての通常学級に多く入っているわけではない。よって、生徒による評価では、交流学習を活発に行っているとの評価が決して高くはないという結果が出ているため、次年度は成果目標の設定を検討する必要がある。	1組の生徒は卒業後も地域に住み続けるので、このような交流が大切である。
本校の特色②	<ul style="list-style-type: none"> 3年間で計画的に職場訪問、職場体験、上級学校調べ、進路講演を行う。 調べ学習、発表活動等を通してリテラシーや言語能力を育てつつ、自ら進んで進路学習に取り組む指導を進める。 ホームページの積極的な更新。 学校便りの地域への配布。 学校行事や授業公開等の事前案内。 健全育成体験主張発表会や石田波郷俳句大会等へ積極的な作品応募。 	4	4	第3学年においても地域人材を活用した授業を3月に実施し、努力目標を達成することができた。また、3年生の進路は全て決定している。	清瀬中の生徒が清瀬小学校で職場体験を行った。とてもよくやっていた。
	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの積極的な更新。 学校便りの地域への配布。 学校行事や授業公開等の事前案内。 健全育成体験主張発表会や石田波郷俳句大会等へ積極的な作品応募。 	3	3	ホームページの更新は、市のシステム変更によって技術的に思うようにできなかった。しかし、学校独自の更新マニュアルを作成することができたので、今後は担当職員によって、随時更新を行っていく。保護者の参加数は「1家庭1役」の推進によって、さらに増加していきたい。	部活動大会や各種コンクールで清瀬中学校の生徒が活躍している様子は、学校だよりで教えてもらっているのでもよくわかる。毎月もらえるのでありがたい。